

民研部会から

音楽教育

森谷 直美

公開授業を二回実施

今年度は部員による公開授業を二回と東京教研音楽教育分科会と共催で公開講座を実施することができました。

十月十七日に日市Y小Y先生が一年生体育科の授業でリズム表現を行いました。ゲストティーチャーとして保育士さんをお迎えして、ピアノを弾いてもらったり、



子どもたちと一緒に動いてもらったりして、あつという間の一時間でした。教師の声かけやピアノの音楽の働きかけについて、目の前で学ぶことができました。

一月二十八日

には公開講座

「東京大空襲と子どもたち」命の重さを伝えるには」を開催しました。

講師の早乙女愛さん（プロデューサー・映像編集者）のお母さんは元民研音楽部員の音楽教師で、幼少の頃より父である作家の早乙女勝元さんの取材旅行に同行し、国内外の戦跡を訪ねて育ちました。今は東京大空襲・戦災資料センターの展示映像の制作の仕事などを通して、資料などを後世に残す仕事をしています。

東京で実際に戦災に遭い、戦後を生き抜いた人の生々しい証言を、お話と映像、絵本や著作で紹介してくださいました。

戦争という言葉が過去のものではなく、全世界を脅かしている今、東京の子どもたちや周りの人々に、どうやって伝えていくか、「聴いた人の責任」という言葉とともに考えさせられました。

三月二日にはK区A中Y先生の二年生

と三年生の音楽の公開授業がありました。講師にピアニストの志村泉さんをお迎えして豊かな音楽で溢れる二時間でした。これまでY先生の素敵な歌とピアノで音楽を学んで来た生徒たちは、たくさんの方々に聴かせる事もなく、自然体でいつも通りの歌声を聴かせてくれました。その歌に志村さんも触発されて演奏されたピアノ曲も素晴らしく、生徒たちも観者も、感動を共に味わうことができました。

教科書教材だけではなく、東京民研や教研等で、仲間と共に学ぶ中で見つけた教材。その教材で育つ子どもの姿をみる事ができた二つの公開授業。その中から部員もまた新しく学び、次へと進む力になりました。

（公立小学校）

